

金 賞

水きさららについて

野田 美織

八女市立 上妻小学校

わたしは、水はどこからくるのかについて調べていました。ある日、学習をしていると、問題になったことがありました。

水は、どこからどのようにきれいになっているのか気になりました。

その問題を元にし、みんなで、水きさららに見学をさせてもらう事になりました。

話を聞かせてもらい、一番おどろいた事は、一日に12,600㎡処理していて、小学校のプール35杯分と言われていて、すごくおどろきました。

一番すごいなと思ったことは、34人の方が土、日も休まずに、二十四時間交代しながら働いているという事です。

一日でも休んだら、きれいな水ができないんだなあとと思って、感心しました。

わたし達が、使った汚れた水は、どのようにきれいになっているのかも学習しました。

まず、汚れた水は、下水道を通って、最初沈殿池について、次に、反応タンクにつきます。

反応タンクには活性汚泥がいて、汚れを食べてくれるそうです。活性汚泥とは、微生物の集まりで、目には見えない生き物達が汚れを食べてくれているからわたし達の町は、清けついでられるんだなと思

ました。

だけど、食べのこしや、油などを下水道に流してしまうと、下水管が詰まってしまって、下水があふれて町を汚してしまうかもしれないので、気をつけないといけないなと思いました。

微生物達は、油が苦手だそうです。できるだけ油を下水に流さないように気をつけようと思います。

水がきれいになると、わたし達の町も汚れずに清けついで住みやすくなるので、一人一人が努力して、なるべく食べのこしを流したりしないように、ネットをするなどしてたいさくしていこうと思いました。

わたしの家では、お母さんはい水口にネットをかけていました。おふろのはい水口には、かみの毛をからめ取るシートをつけていました。お母さんもいろんな方法でゴミをはい水口に流さないようにしているんだなと思いました。

わたしも、これからはもつと下水をなるべくよごさないように気をつけながら生活していきたいと思います。

今回、水きさららに見学に行って学んだ事を活かしながら水を大切にしていきたいです。